

ネイチャーセンターだより



ミツユビカモメ

英名：Kittiwake 学名：*Rissa tridactyla*

冬鳥として日本に渡ってきて、沖合でプランクトンや小魚を食べているのであまり見ることができませんが、台風などで海が荒れると風蓮湖に避難してきます。写真に写っているオオセグロカモメよりも小さく、全長はおよそ41cm。冬羽は頬や後頭部に黒い模様が入るのが特徴です。普通のカモメの仲間は足の指が4本見えるのに対し、前の3本しか見えないように見えることからこの名がつけました。

ネイチャーセンター祭り

ネイチャーセンターで一日中楽しもう！ボランティアグループ「スルク」が工作やネイチャーゲームを用意して皆さんのご来館をお待ちしています。

日時：10月21日(日) 10:00～15:00

対象：どなたでも

(小学生以下は保護者同伴)

申込：不用

参加費：100円/1人

風蓮湖の魅力を探るバスツアー

風蓮湖をレンジャーと一緒に一周するバスツアー。根室市内からわずか20kmの距離にありながら、豊かな自然の広がる風蓮湖の見所を1日かけてご案内します。

日時：10月28日(日) 9:00～15:30

対象：中学生以上、定員25名

申込：10月23日(火)まで

参加費：100円/1人

10月のイベント

お申し込み・お問い合わせは、ネイチャーセンターまで (0153-25-3047)

ネイチャーセンターのイベント報告

海の生き物を見つけにいこう 7 / 29

7月29日(日) 春国岱の水辺の生きものを観察する『海の生き物を見つけにいこう』を開催しました。当日は天気にも恵まれ、19名の親子が参加してくださいました。

子どもたちは、どんなところに生き物が隠れているのか、網をどのように使えば生き物が捕まえられるかなどを大人の方やレンジャーに教えてもらいながら捕まえていました。捕まえた生き物はみんなで観察し、砂の中にある生き物、岩場にいる生き物、海草に隠れている生き物など、環境によっている生き物が違うことなどを体感しました。観察した後は、自分が気に入った生き物の一つ決め、スケッチをしました。スケッチしたものは、ネイチャーセンター1階に展示してありますので、ご覧ください。

最後に、今日捕まえた生き物たちの繋がりや、風蓮湖の大切さなどを勉強しました。

夏休みを利用して札幌からお孫さんが来ていた方からは「札幌には海がないので、いい経験をさせることができた」との感想をいただくことができました。



さあ、捕まえよう！



捕まえた生き物をスケッチしました



何が捕まったかな？

あなたも風蓮湖・春国岱で活動してみませんか ~フィールドボランティア募集~

フィールドボランティア説明会 10月13日(土) 10:00~12:00

「風蓮湖・春国岱」で楽しみながらボランティア活動してみませんか？ボランティア活動の内容や、春国岱についてレンジャーがご紹介いたします。特別な知識や経験は必要ありません。どうぞお気軽にご参加ください。

- ・対象：高校生以上20名
- ・申込：10月8日(月)まで

10月の自然情報

春国岱の森の中に行く、キタキツネ・アカエゾマツコースは現在通行止めです。
 浜辺に行く、ヒバリ・ハマナスコースとネイチャーセンター横の小鳥の小道が散策できます。
 センターでは、双眼鏡の無料貸し出しをしていますので、お気軽にご利用ください。



観察路がぬかるむ場所があります
 十分注意してください

～小鳥の小道～ エゾリス



クルミの実がなるこの季節になるとエゾリスをよく見かけることができます。地上に落ちているクルミを拾い、木の枝まで運んで、カリカリと堅いからを割って食べます。また、冬に備えて、地面に穴を掘って埋める行動も見ることができます。

～ハマナスコース～ エゾシカ



秋になると、エゾシカは繁殖期を迎えます。春に生え変わった角は立派に成長し、オスはその大きな角を突き合わせて、メスを獲得するために争います。闘いに勝ったオスは、数頭から数十頭のメスをしたがえてハーレムを作ります。

～ヒバリコース～ アッケシソウ



中旬になると、緑色だったアッケシソウが真っ赤に色づきます。アッケシソウの別名サンゴソウは、赤くなった姿がサンゴに似ているところから名づけられました。

～ヒバリコース～ オオハクチョウ



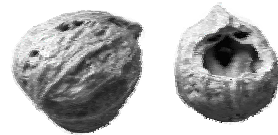
夏の間シベリアで子育てをしていたオオハクチョウが冬を日本で過ごす為に風蓮湖に渡ってきます。風蓮湖は、日本の玄関口にあたる場所で、多いときには6000羽ものオオハクチョウが集まります。風蓮湖が凍る12月くらいまで見ることができます。

ネイチャーセンター日記

最近お客様から「ゴルフボールくらいの大きさの緑色の実が落ちていたのですがなんの実ですか?」と聞かれることがあります。ネイチャーセンター横の自然学習林を歩いていると、地面に緑色の実が落ちているのをみつけることができます。実は、これはクルミです。

クルミというと、みなさん茶色い堅い殻を思い浮かべるようですが、木についている時は、あの堅い殻の周りを緑色の果肉みたいなものが覆っているのです。10月くらいになるとこの果実が腐り、中から堅い殻が出てきます。そして堅い殻のなかの種は、エゾリスの大好物です。自然学習林では、これからの時期、クルミを求めてやってくるエゾリスを見ることができます。

ちなみに、クルミにもいくつか種類がありますが、自然学習林のクルミはオニグルミという種類になります。



メール配信のお願い

郵送料削減と省資源を目指し、ネイチャーセンターだよりをメール(PDF形式)で配信しています。ご協力下さる方は下記メールアドレスまで、ご自身のアドレスをお知らせ下さい。ご協力お願い致します。(郵送ご希望の方には今後もそのまま郵送いたします。)

連絡先: nemu_nc@marimo.or.jp

また、ネイチャーセンターだよりは、ホームページ上でもPDF形式で公開しています。

ホームページ: http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

団体向けプログラムのご案内

野外解説 (1~2時間 / 10~20名)

自然のお話 (25分 / 10~45名)

自然のクイズラリー (1時間 / 10~50名)

タンチョウのヒミツに迫るタンチョウゲーム (0.5~2時間 / 10~20名)

事前申込みが必要です。詳細はネイチャーセンターまでお問い合わせください。

などの野外ガイドは、学校団体・市民団体等にらせていただきます。

住所 〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地
電話 0153-25-3047 F A X 0153-25-8570
H P http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html
メール nemu_nc@marimo.or.jp

10月の開館時間
9:00~16:30
10月の休館日
3・9・10・17・24・31

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

2007.9 発行